

園芸生産学特論 I (2単位)

担当者氏名 小池安比古

◆学習・教育目標

前期課程においては、これまでの学部の諸講義・実験・演習や卒論研究で得られたことを一層深化させ、園芸作物の効率的な高品質・安定生産の展開を目指して、生産・技術上の問題点や研究成果に関する高い学識を磨くと同時に、実学的で独創的な修士論文研究の展開を図る園芸生産学特論 I では研究のあり方などに加え、生産および技術上の問題点に関する高い学識を磨くことを目標とする。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

園芸学 園芸研究 園芸生産 高品質生産
 安定・持続生産 省力的生産 心身の健康 環境制御

◆授業の進行等について

	テーマ	内 容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1	園芸と園芸学	定義と特徴、園芸の歴史、園芸作物の生産と消費	本講義のねらいは、前期課程で実学的・独創的研究を展開するために、主に園芸生産における現在の諸問題点などを理解することである。
2	園芸作物の種類と分類	形態分類と APG 分類、園芸的分類、主な科の性状	
3	園芸作物の形態	栄養器官の形態、生殖器官の形態	
4	園芸作物の生理(第 4～9 回)	発芽と休眠、光合成、花芽形成と生殖、種子の形成と果実の発育、老化と細胞死、水と無機栄養、植物ホルモン	
5	園芸作物の品種の改良方法と種苗の繁殖方法	品種改良の方法、種苗の繁殖方法	
6	園芸作物の生理生態的特性と栽培管理(第 11～13 回)	野菜、果樹(落葉果樹、常緑果樹)、花卉	
7	園芸作物の鮮度保持方法	野菜、果実、花卉の鮮度保持	
8	環境にやさしい園芸生産	園芸作物の環境保全機能、ファイトレメディエーション、生物農薬の利用、室内園芸	

◆教科書及び資料(授業前に読んでおくべき本・資料)

書名/著者/発行所(発行年)

_____ / _____ / _____ (_____)

◆授業をより良く理解するために便利な参考書・資料等

書名/著者/発行所(発行年)

新園芸学全編/園芸学会/養賢堂(1998年)、Horticulture in Japan 2006/園芸学会/中西印刷(2006年)

◆評価の方法(レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト)

課題に対するレポートの提出と発表、授業中の質問に対する回答等によって評価する。

◆その他受講上の注意事項

毎講義時に資料を配布する。